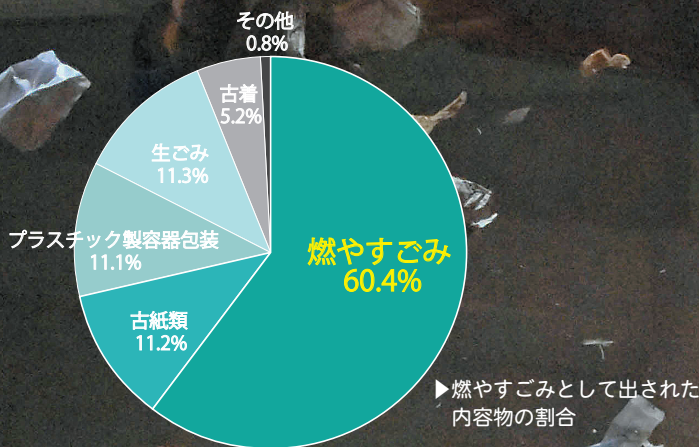


# 全国トップクラスの

# 「リサイクル率」 だけど、

# 年間 2,000 万円近い

# 損をしている。



**環**境省が毎年4月に発表する「ごみ処理実態調査」の結果、3年連続で長野県が全国で一番、県民一人当たりのごみの排出量が少ないと発表されています。各自治体のごみ減量に関わる取り組みが全国的に推進されていることが理由に挙げられます。小諸市は、同等規模の自治体と比較してもごみの排出量が少ない現状にあります。

また、ごみの排出量以上に小諸市のごみの「リサイクル率」は全国でもトップクラスです。小諸市の分別が細かいことや、地域の資源ごみ回収等が頻繁に実施されていることが一つの要因だと考えられます。

しかし、分別が細かいことで誤った分別がされ、燃やすごみの袋の中には、資源ごみが多く紛れています。上のグラフは、燃やすごみ袋に入っていたごみの種類を割合化したものです。もし、古紙類が資源ごみとして分別されていたら、焼却経費と焼却して出た灰を捨てる経費が節約でき、古紙は売却することができます。その額は、2,000万円に相当します。